

I. ビジネス創造センターの活動概要

ビジネス創造センター（Center for Business Creation: C B C）は小樽商科大学が平成 11（1999）年度にそれまでの経済研究所を改組して設置した学内共同教育研究施設です。平成 12（2000）年度には省令施設化され、社会科学系国立大学初の「共同研究センター」となりました。設置目的や業務はセンター規程（平成 12（2000）年 4 月 1 日施行）に次のように定義されています。

第 2 条 C B C は、学内共同教育研究施設として、本学における学術の成果を広く社会に還元し、産学官の連携を強め、地域経済の活性化及び新産業の創出に向けた実学実践の場、更には本学の高度職業人養成の場として寄与することを目的とする。

第 3 条 C B C においては、次の各号に掲げる業務を行う。

- （1）民間機関等との共同研究及び受託研究に関すること。
- （2）国内外の産学官連携強化のためのコーディネートに関すること。
- （3）新産業創出及び既存産業の活性化のための相談に関すること。
- （4）その他 C B C の目的を達成するために必要な事項。

その後 C B C は規程に沿った活動を展開してきましたが、大学をめぐる社会情勢の変化に合わせてこれを年々変革し、平成 24（2012）年度からは特定運営費交付金「開放型知的プラットフォームによる連携事業」を受けて、いっそう活発な活動を展開中です。平成 25（2013）年度の活動概要は次のとおりでした。

1. 産業振興プロジェクトの推進

国立大学が地域の産業振興に積極的に関与し、リードすることが期待される状況の中、小樽商科大学も各種の事業プロジェクトに参画することが増えています。C B C はその中心として、特にビジネスドメイン定義やニーズ発掘、それらに基づく商品コンセプト提案、ビジネスプラン策定等に指導的な関与を求められています。平成 25（2013）年度に C B C で進めた共同研究、受託研究は次の 2 件ほか共同研究 1 件でした。

- 函館マリンバイオクラスター（文部科学省「地域イノベーション戦略支援プログラム」、受託研究）

「函館マリンバイオクラスター」は北海道大学水産科学研究院および北海道立工業技術センターの研究成果の事業化を目指した国家プロジェクトで、小樽商科大学も平成 22（2010）年度から参画してきた。澤田芳郎教授がコーディネータとして従事し、平成 24（2012）年度はマーケティング論の近藤公彦教授がプロジェクト本部に対するアドバイザーに就任。最終年度の平成 25（2013）年度は次期計画に向けた「将来構想スケッチ」を行なう方向となった。